

2014年度事業計画

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

友愛学舎・ゲストハウス・レジデントアシスタントを中心に各学生サークルの連携をはかり、留学生へ情報発信を積極的におこなうようにする。双方の学生が刺激しあい成長していけるような環境づくりを行う。

■Feel Japan 年中行事を楽しむ会

日本の文化紹介プログラムを実施する。留学生と日本の学生が知り合う一助になることも目的とするが、寮生活をしながら日本の伝統行事を知る機会を提供する。

■国際理解講座 Global Understanding

月2回「平和」をテーマに様々な角度から国際理解を深めるための知識をディスカッション形式で学ぶ。コーディネーターとして早大YMCA舎監の石戸充氏が指導する。留学生と日本の学生が日本社会の課題を共に事前学習を行い、沖縄へのフィールドワーク開催を予定する。

■韓国ハンバット大学校日本研修

韓国ハンバット大学校日本語科の地域専門家養成プログラムとして訪日研修を受け入れる。

期間：未定

プログラム：企業訪問、日本の政治・在日外国人の状況等についての講義、学生活動との合同プログラム。

■いのり☆フェスティバル<主催：いのりフェスティバル実行委員会、協賛：早稲田奉仕園>

昨年につき、スコットホール及び中庭を会場に9月開催予定。キリスト教につながるあらゆる人々が教派や企業、学校の枠を超えて一堂に介するフリーマーケット型イベント。キリスト教をテーマにした対談、パフォーマンス等も行われる。

(2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

奉仕園「日本語ボランティア養成講座」の修了者がボランティア日本語講師として留学生及び在住外国人に日本語を教える。水曜日は午前1クラス・午後2クラス、金曜日は午後1クラスで開催。通常の活動のほか、課外授業、お茶会、新年会、学習者発表会、講師の研修会など随時行う。

■あすなる会

近年、主体的に関わる学生を集めることが困難な状況になりつつあった現状を鑑みて、今年度の通常活動は一旦休止とする。1962年発足当時から早稲田奉仕園の学生活動の中心的な役割を担い、多くの人材を社会福祉の現場に輩出してきた。その歴史と認識に立つと活動休止は残念なことだが、今年度は再び学生が主体的に関わっていかれるような体制を整えることに力を注ぎたい。

■東日本大震災被災者支援活動

放射能汚染によって首都圏へ避難している小中高生を対象に、学習支援や富士登山旅行などのプログラムを継続する。

■外国人居住者生活相談会<共催>

ミャンマーからの難民をはじめ外国人居住者のための無料生活相談会を、奉仕園を会場に4月から定期的に開く。労働関係、福祉、教育等々の問題を抱える外国人に助言を行い、日本での自立した生活を送れるようサポートを行う。

日時：毎月第2日曜午後1時から5時

共催：国連難民高等弁務官事務所、NPO法人東京労働安全衛生センター

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■アジア語学講座

アジアの言語を学ぶ語学講座及びアジア各地の文化理解を促進するプログラムを実施する。アジア語学講座開設40周年を終えた今年度は、引き続き特別講座の開催にも力を入れる。

①語学講座

韓国語、タイ語、ベトナム語、ベンガル語、ヒンディー語、モンゴル語、ミャンマー語のクラスを開講するほか、2014年7月、2015年3月に週末を利用した集中講座を開講予定。

②特別講座

ギャラリーを利用した企画展や講堂を利用したの映画上映会、講演会などを随時実施する。

■英語講座

開講クラスは全3クラス。基礎英語（2クラス）ではコミュニケーション英語力を楽しく身につけることを目指す。ディスカッションクラスでは、世界の最新ニュース記事を読み解き、見識を広げると共に英語のブラッシュアップをはかる。

■日本語ボランティア養成講座

1年間3期で外国人への日本語教授法の初級から上級をコンパクトに学ぶ。4月に日本語ボランティア養成講座「初級Ⅰ」半年間（全16回）を開講。修了後には日本語ボランティア活動が開始できる。10月開講の「初級Ⅱ」（全10回）では、初級から中級レベルへの橋渡しがスムーズにいくように重要表現文型とその教え方を学ぶ。翌1月に学習者の多様なレベル・ニーズに対応した適切で効果的な教授法が学べる「中・上級」（全6回）講座を開講。1年を通して、学習者のレベルに合わせたこれら3つの講座を充実させることを目指す。

講師：数土容子（武蔵大学講師）

■「スコットホールでゴスペルを歌おう」講座

スコットホールを会場に年4シーズンを設け、ストレッチ、ボイストレーニングを含めたクラス内容で、各シーズンに1曲ずつ奉仕園オリジナルアレンジ曲でゴスペルを始め幅広いジャンルの歌を歌う。また、4月にゴスペルを歌いたい人向けのOpen Voice Day、12月にクリスマス発表会を設ける。基礎からじっくり積み上げていきつつ、元気が出る講座として明るく楽しく歌ってもらうことを目指す。

講師：藤子（プロシンガー）

■水彩画レッスン

前後期に各6回のレッスンを開催、初心者向けに実技を丁寧に指導。静物画や野外スケッ

ち、講評を中心とした内容となる。講座終了後は作品展を早稲田スコットホールギャラリーで開催する。

講師：森本太郎（美術作家）、渡邊義孝（尾道市立大学非常勤講師）、河原美由紀

■写真講座

前後期に各 5 回のレッスンを開催、各自が自分らしい表現を身につけられるよう視点の増やし方や焦点のずらし方などを丁寧に指導。身近な建物や風景を自由に撮影し、講評を中心とした内容を予定、講座終了後は作品展をスコットホールギャラリーで開催する。

講師：北田英治（写真家）

■聖書講座<日本クリスチャンアカデミー関東活動センターとの共催>

①「イエスの世界の女性たち」

4月から毎月1回の10回シリーズ。

講師：山口里子（日本フェミニスト神学・宣教センターディレクター）

②「マルコ福音書を読む」～聖書入門講座

9月から毎月1回の全5回シリーズ。

講師：柳下明子牧師（日本基督教団武蔵野緑教会牧師、日本聖書神学校教員、日本女子大学、恵泉女学園大学非常勤講師）

（4）学寮運営事業（友愛学舎・ゲストハウス）

■友愛学舎

舎生数：2014年度は4年生3名（男子2名・女子1名）、3年生3名（男子3名）2年生4名（男子1名・女子3名）の在寮生に加え 新一年生4名を募集する。

活動：朝の会 学期期間中の月曜日～金曜日の7時～7時30分、聖書講読（使徒言行録）及び学生発表等を行う。

舎生会 毎月1回開催、友愛活動・生活について話し合う。

年間活動：昨年より実施した新入生対象のオリエンテーションを実施し奉仕園・友愛学舎の歴史を在寮生とともに学ぶ機会を持ち伝統を受け継ぎつつ活動を続けていき

たい。友愛旅行・卒舎式（3月）などの行事のほか、外部団体と連携し海外研修やボランティアの機会を提供し参加できるような環境を整える。

■ゲストハウス

大学学部生・大学院生・研究者のための寮であり、7名が在寮。年2回ほど寮生同士の懇親を行い 奉仕園のプログラムなどへの積極的な参加を促す。

（5）早稲田大学との協力による学寮運営事業（国際友愛学舎）

■国際学舎

早稲田大学の外国人留学生・研究員寮 152 室に 127 名（11 月現在）が在寮。レジデントアシスタント（RA）がRAルームに平日の19時から21時まで常駐。

■留学生健康相談室の運営

必要に応じて個別面談を実施し健康状態の把握に努めると共に、インフルエンザの流行対策等を積極的に行う。大学とも連携を取り、緊急時を含めて対応できるような体制をとっており連絡体制などを随時確認する。

カウンセラー：吉田豊医師、紀野久美子保健師

開室時間：毎週月曜日 13：00～15：30

毎週水曜日及び木曜日 13：30～17：30

相談内容：病院の紹介、栄養指導、ケガの応急処置、風邪の初期対応、感染症（インフルエンザ等）についての情報提供、アンケートでの健康状態の把握など。

■奉仕園クリスマス会

奉仕園学生寮の寮生を中心に、12月13日に開催する。交流パーティーのほか、グループや個人によるアトラクションを予定。他の早稲田大学留学生寮へも呼びかける。

■第11回長野市大岡研修旅行

長野市大岡を訪問し、小学校訪問、農作業体験、ホームステイなどを通じて日本の農村生活を体験する。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生・研究者 20 名

期間：5月下旬から6月上旬 2泊3日

協力：早稲田大学留学センター、公益財団法人育てる会大岡ひじり学園、
長野市教育委員会

内容：大岡中学校での交流会、農家へのホームステイ、郷土料理実習、農作業体験、
陶芸実習、自然散策、歴史的建造物の見学、ほか

■第5回富士山登頂研修

昨年度に引き続き、原発事故による放射能汚染によって首都圏へ避難している家族を招き
留学生と共に山頂をめざす。事前のオリエンテーションにおいて、富士山のこと、登山の
知識等のレクチャーをおこなう。

人数：留学生10名及び被災家族8名計18名程度

期間：7月の2泊3日（1泊は山小屋）

協力：YMCA東山荘

■第9回早稲田大学留学生・冬の富士山を楽しむ研修旅行

早稲田大学留学生が静岡県御殿場市を訪問し、富士山周辺散策を通じ日本の自然に触れ、
環境への理解を深める。友愛学舎・信愛学舎の日本人学生を中心として留学生との合同で
実施するプログラムとし、お互いの交流を深める場となるようにする。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生・研究者20名、日本人学生若干名

期間：2月初旬の2泊3日

協力：早稲田大学ICC、YMCA東山荘

内容：富士山麓の散策、富士山周辺の自然学習、郷土料理実習、箱根観光等

■ホームビジット

留学生に東京近郊の一般的な日本人の生活に触れてもらう機会を提供する。

協力依頼：奉仕園OBOG、早稲田教会、東京平和教会、奉仕園日本語ボランティアの会、
稲門会など

実施期間：前期6月2日（月）～7月6日（日）、後期10月14日（火）～12月7日（日）

■シンポジウム第2回「留学生のハウジング運営の課題と未来」〈共催〉

2008年に第1回シンポジウムを開催したが、この間、東日本大震災をはじめ留学生を取り巻く状況にも変化がみられる。現場からの報告を中心に、留学生のハウジングについて討論する。

主催：早稲田奉仕園、NPO法人JAFSA（国際教育交流協議会）

協力：早稲田大学留学センター（予定）

■施設・設備

5号館（ベニンホフ記念館 1970年築）の耐震診断結果を踏まえ、補強工事又は建替え等の対応を検討する。

2. 収益事業

（1）駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■賃貸事業

月極め駐車場及び事務所の賃貸、宣教師館・牧師館、教会への施設貸出し。

■施設管理の受託

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応をおこなう。

（2）会議施設及びホール施設の貸与事業（セミナーハウス）

■会議室・ホール・早稲田スコットホールギャラリー

備品・設備の改善を適宜行い、利用拡大に努める。ギャラリーは引き続き第3回「東京の近代建築スケッチ公募展」（11月末）を開催するとともに、オープンスペースとしての利用を誘致する。

■プログラム（協賛を含む）の開催

年3、4回程度、趣旨に賛同する集会について、使用料の割引やチケット等の買い上げにより、集会や活動を協賛する。また、東京都文化財ウィークに合わせたスコットホール公開事業（11月頃）を行う。チャリティー古本市（5月、10月）を実施する。

3. 法人総務

■賛助会員

公益団体としての認知度を高め、広く個人・諸団体からの支援を得ることを目的とし、賛助会員制度を設けている。本年度は個人・団体との更なる会員増を目指す。

■広報

奉仕園通信の発行は年2回、カラー版で発行する。ホームページは2013年10月にリニューアルしたアジア語学講座ページ及びブログの内容を充実させていくほか、講座部門のページのリニューアルを行う。また、フェイスブックやツイッターなどSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）による情報発信を継続してすすめる。

■財団会議

理事会：第1回定時理事会（6月2日）、第2回定時理事会（2015年3月）

評議員会：定時評議員会（6月）

常任理事会：数回開催

■奉仕園ホームカミングデー

6月頃の開催を予定している。

■キリスト教施設長会議

施設長会議：2015年1月28日から30日 日本YMCA同盟東山荘にて開催

職員研修会：2015年1月21日から23日 キープ協会清泉寮にて開催